

児童 3年3組 男14名 女10名  
指導者 森 顕 子

## 世界の民話のおもしろさを しょうかいしよう

中心学習材 「三年とうげ」(光村図書3年下)

〈付けたい力〉

- ◎民話を読んで感じたことを発表し合い、一人一人の感じ方の違いに気付く力(読オ)
- 物語の組立てを捉えながら、登場人物の気持ちの変化について叙述を基に想像して読む力(読ウ)

〈単元を貫く言語活動〉  
世界の民話の面白さを紹介する。

〈主体的な思考・判断・表現を促す手立て〉

- ・第1次で、世界の民話の紹介や紹介カードのモデル提示を通して、世界の民話を読んで面白さを紹介するという単元の学習の見通しを明確にもてるようにする。
- ・第2次で、民話の面白さやその理由を全文シートに印付けながら紹介し合うことで、一人一人の感じ方の違いに気付くことができるようにする。

### 1 子どもと単元について

#### (1) 子どもの実態

前単元では、物語の出来事を捉えながら、登場人物の気持ちの変化を想像し、感じたことを紹介する学習を行った。この学習を通して、自分の好きな叙述を選び、叙述に基づいて想像した感想を交流し合う中で、それぞれの感じ方に違いがあることに気付き始めてきている。この学習を受け、本単元では、組立てが捉えやすい民話というジャンルに絞り、登場人物の変化に焦点を当てながら読むことで、民話の面白さについて感じたことを発表し合い、一言に面白さと言っても面白さの感じ方が一人一人違うことに気付く力をさらに伸ばしていきたい。

#### (2) 学習材について

中心学習材「三年とうげ」は、作品の舞台である朝鮮半島の伝統的な風景を表現した挿絵が魅力的であり、文章だけでなく、挿絵からも情景を想像しやすい物語である。また、登場人物であるトルトリの逆転の発想によって、おじいさんの不幸を幸運に180度変えてしまうという面白さが子どもたちを引き付ける作品である。民話は、物語の組立ての型である「起・承・転・結」がはっきりしているため、話の展開が分かりやすい。また、「出来事(事件)」をきっかけとした中心人物の気持ちの変容が捉えやすい。このような民話の特徴は、民話の面白さを感じることに繋がると考える。

以上のことから、本単元で取り上げる学習材は、民話の面白さを感じながら読み、面白さの違いを感じる力を付けることが期待できるといえる。

#### (3) 言語活動の特徴と系統

本単元では、「世界の民話の面白さを紹介する」ことを、単元を貫く言語活動として設定する。以下の特徴を通して、付けたい力の確実な育成を図る。

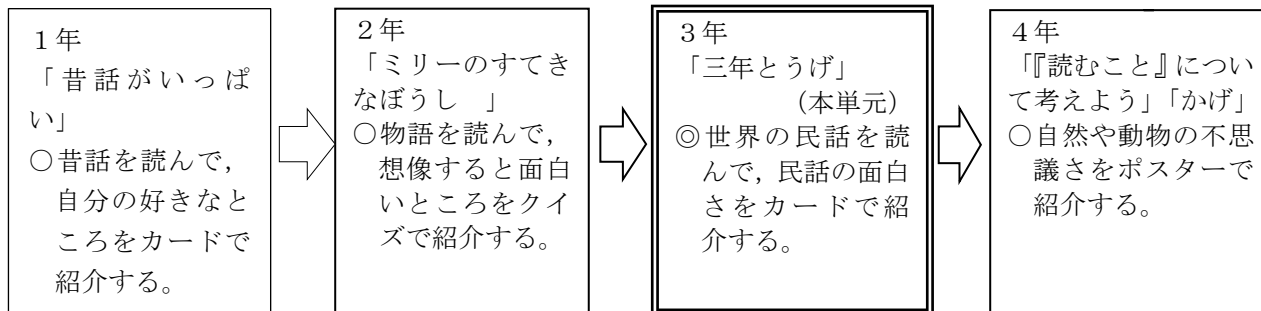
〈紹介カードの構成要素〉

- ・書名
- ・国名
- ・紹介者名
- ・面白かった叙述や面白かった部分をまとめた文
- ・面白いと感じた理由

〈読みの観点〉

- ・物語の設定(時・場・人)
  - ・物語の組立て
  - ・面白い叙述や面白い部分
- 〔登場人物の行動や会話  
出来事  
登場人物の気持ちの変化  
登場人物の考え方〕

「お話の面白さなどを紹介するために読む」という言語活動の系統は、以下のとおりである。



(4) 指導に当たって

指導に当たっては、次の三つのことを大切にする。

一つ目は、「世界の民話を読んで面白さを紹介する」という課題意識を明確にもてるようにすることである。そのために、第1次で、世界の民話の紹介や紹介カードのモデル提示を行う。また、単元導入前に図書ボランティアによる「世界の民話お話会」を設定することで、民話を読むことへの関心を高められるようにする。なお、並行読書で民話を読む際には、読書カードに記録しながら読むこととし、読書意欲の継続を図るとともに、紹介したい本を決める上での拠りどころとなるようにしたい。

二つ目は、内容や構成を捉えた上で、民話の面白さを紹介できるようにすることである。そのために、第2次では、物語の設定や構成、内容の大体を捉え、登場人物の気持ちの変化について想像して読んだ後に、紹介するのにふさわしい面白さとその理由について考えることとする。

三つ目は、一人一人の感じ方の違いについて、子どもたちが実感できるようにすることである。そのために、面白さとその理由を紹介し合う際は、全文シートに印を付けながら紹介し合うことで、興味をもって聞き合い、可視化を図りながら一人一人の感じ方の違いに気付けるようにする。

これらを通して、民話の面白さを感じながら読み、面白さの違いに気付くを高めていきたい。

2 単元の指導目標

- 面白さを見付けながら、世界の民話を読もうとする。 【関心・意欲・態度】
- ◎民話を読んで感想を交流し合い、感じ方の違いに気付くことができる。 【読むこと オ】
- 場面の移り変わりを捉え、登場人物の気持ちの変化について想像して読むことができる。【読むこと ウ】
- 文章中の中で使われている言葉の工夫に着目し、表現するための語句を増やすことができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 (1) イ (オ)】

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○面白さを見付けたり、面白いと思う理由を明らかにしたりしながら、民話を読もうとしている。	◎民話を読んで感じた面白さやその理由を発表し合い、一人一人の感じ方の違いに気付いている。 ○物語の組立てや登場人物の気持ちの変化、考え方を捉えながら民話を読み、面白いと思ったところとその理由を明らかにしている。	○文章の中で使われている言葉の工夫に着目したり、自分の考えを適切に伝えるために表現を工夫したりしている。

4 学習指導計画（全6時間）

【主な段階】

【主な学習活動】

【主な手立て】

第1次  
単元の学習について、課題意識と見通しをもつ。  
(1時間)

- ①・世界の民話の紹介や紹介カードのモデル提示を通して、世界の民話を読んで面白さを紹介するという単元の学習の見通しをもつ。
- ・「三年とうげ」の題名から内容を想像したり、読んだ感想を基に作品の面白さに目を向けたりする。

民話の紹介や紹介カードのモデル提示を通して、民話を読んで面白さを紹介するという単元の学習の見通しを明確にもてるようにする。

<評価> \_\_\_\_\_  
① 単元の学習の見通しをもち、学習計画を立てている。 《発言・ワークシート》

第2次  
中心学習材について、大体的内容や気持ちの変化を捉えながら読み、面白さを紹介し合う。  
(3時間)

- ② 挿絵を手掛かりに「三年とうげ」の話の設定や構成・内容の大体を捉える。
- ③・登場人物の言動や気持ちを表すところを書き出し、その変化について考える。
- ・面白ナンバーワンを選び、その理由をまとめる。
- ④ 面白いと思ったところとその理由を紹介し合う。(本時)

民話の面白さやその理由を全文シートに印付けながら、紹介し合うことで、一人一人の感じ方の違いに気付くことができるようにする。

<評価> \_\_\_\_\_  
② 起承転結の構成を知り、出来事の変化に気を付けて、物語を四つのまとまりに分けている。 《発言・ワークシート》  
③・登場人物の行動や気持ちを表す文や語句に注目し、気持ちを考えながら読んでいる。 《発言・ワークシート》  
・自分の面白いと思ったところを選び、その理由をまとめている。 《発言・ワークシート》  
④ 面白いと思ったところとその理由を紹介し、感じ方の違いについて気付いている。《発言・ワークシート》

第3次  
自分が選んだ世界の民話について、面白いところや理由をグループで紹介し、単元の学習を振り返る。  
(2時間)

- ⑤自分が選んだ世界の民話について面白いところやその理由をまとめる。
- ⑥自分が選んだ世界の民話について面白いところやその理由を紹介し合い、単元の学習を振り返る。

交流を通して、面白さを見付けながら物語を読む力や感じ方の違いに気付く力の高まりを、実感できるようにする。

<評価> \_\_\_\_\_  
⑤ お気に入りの世界の民話について、面白かったところとその理由をカードにまとめている。 《発言・ワークシート》  
⑥・お気に入りの世界の民話の面白いと思ったところとその理由をカードを使って紹介し、面白さの感じ方の違いに気付いている。 《発言・ワークシート》  
・身に付いた力を交流し、物語の展開や登場人物の気持ちを捉えながら読む力や一人一人の感じ方の違いに気付く力の高まりを実感できるようにする。 《発言・ワークシート》

【日常活用場面】  
○感想をもちながら、読書を楽しむ。  
(日常の読書)

並行読書

5 本時の指導（4／6時）

(1) ねらい

「三年とうげ」を読んで、面白いと思ったところとその理由を紹介し合い、一人一人の感じ方の違いに気付くことができる。

(1) 展開

学習活動	思考を促す発問(◎)と反応例(・) 学習内容	指導の手立て(○)と評価
<p>1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。</p>		<p>○前時までに選んだところとその理由を紹介し合うことへの意欲付けを図る。</p>
<p>おもしろナンバーワンとその理由をしょうかいし合おう。～自分と同じところやちがっているところを見つけながら～</p>		<p>○紹介する際には、互いの面白ナンバーワンのところとその理由に注意して聞き合うことを確認する</p>
<p>3 面白ナンバーワンのところとその理由をグループで紹介し合う。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【紹介する内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おもしろナンバーワンに選んだところとその理由</li> </ul> <p><b>【聞き方】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おもしろナンバーワンに選んだところやその理由について、自分と同じところや違うところを比べて聞くこと</li> <li>・友達の選んだところとその理由を聞いて、感想を伝えること</li> </ul> </div> <p>◎まずは、面白ナンバーワンに選んだところを紹介し、その理由をグループのみんなで予想しましょう。その後で理由を聞き、感想を発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ本でも面白ナンバーワンに選んだわけが、ぼくの考えたことと違っていることがわかった。</li> </ul>	<p>○紹介の仕方について話型を提示し、活動のイメージをもてるようにする。</p> <p>○紹介した後、聞き手が選んだ理由を予想する場を設け、共通点や相違点を捉えながら興味をもって聞き合うことができるようにする。</p> <p>○全文シートに、それぞれの面白ナンバーワンの印を付けながら紹介し合うことで、一人一人の感じ方の違いを視覚的にも捉えられるようにする。</p>
<p>4 面白ナンバーワンのところとその理由を全体で確認する。</p>	<p>・友達の面白ナンバーワンに選んだわけを聞いて、なるほどな、と思った。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【面白さの観点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の設定（時・場・人）</li> <li>・物語の組立て</li> <li>・面白い叙述や面白い部分</li> </ul> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の行動や会話</li> <li>出来事</li> <li>登場人物の気持ちの変化</li> <li>登場人物の考え方</li> </ul> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈評価〉</p> <p>面白いと思ったところについて、理由を明らかにしながら紹介し合い、自分と比べることで、一人一人の感じ方の違いに気付いている。</p> <p style="text-align: right;">《交流の様子、全文シート》</p> </div>

5 学習を振り返る。		○板書を活用して、一人一人の感じ方の違いに気付くことができたことを価値づけ、自己評価につなげる。
6 次時の学習内容を確認する。		○次時は、お気に入りの民話の面白ナンバーワンを選び、その理由について考えてまとめることを確認し、意欲と見通しをもたせる。